

【情報連絡部会報告】

多重債務問題に関する研修の実施について

◆概要

○ 目的

- ・ 各種相談窓口の新任職員に対し、多重債務問題に係る基礎的な知識や、関係施策の動向等について、周知を図る。
- ・ 窓口業務の経験者に対し、具体的な相談事例を基に解決策を探る事例検討を通じて、対応力の向上を図る。

○ 開催日時

- ・ 新任職員向け 【第1回】平成29年6月7日(水)
【第2回】平成29年11月22日(水) 各日13:30~17:00
- ・ 経験者向け 【第1回】平成29年6月16日(金)
【第2回】平成30年2月15日(木)(予定) 各日13:00~17:00

○ 参加者

所属	東京都 (主税、水道、教育、生文等)	区市町村 (税務、消費生活、困窮等)	社会福祉協議会	その他	計
新任向け(1,2回)	53	103	27	6	189
経験者向け(1回)	11	8	13	7	39
合計	64	111	40	13	228

○ 研修内容

【新任職員向け】

「最近の多重債務問題とその解決方法」

(第1回:エルピス総合法律事務所 塩谷 昌則 弁護士)

第2回:並木通り法律事務所 小暮 典子 弁護士)

「東京都における多重債務問題の対応」

(生活支援課、消費生活総合センター、メンタルケア協議会 相談員)

【経験者向け】

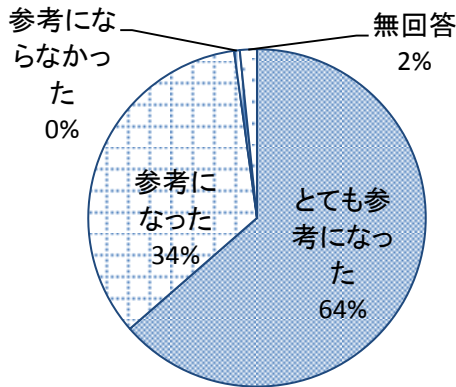
「最近の多重債務問題の状況」(第1回:森川清法律事務所 森川 清 弁護士)

「法テラスの事業紹介」(日本司法支援センター東京地方事務所)

「多重債務相談への対応について」(生活サポート基金 相談員)

◆アンケート結果（新任職員向け第1・2回）（回答：184名）

1 最近の多重債務問題とその解決方法

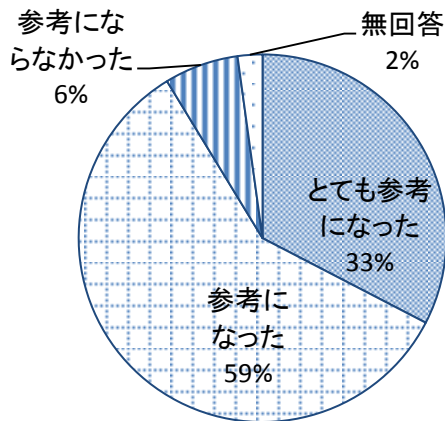


【意見・感想】

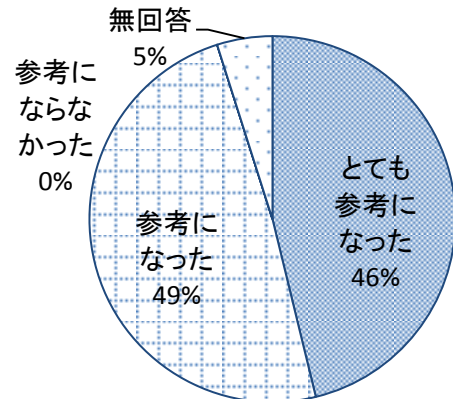
・徴税を行っている、税の滞納だけでなく、その他の債務も抱えている方がほとんどであるため、適切な窓口に繋ぐことの重要性を改めて感じた。

・ギャンブルや浪費によるものだけではなく、病気や事故などの予期せぬ出費から多重債務に陥ることもあると知りイメージが変わった。

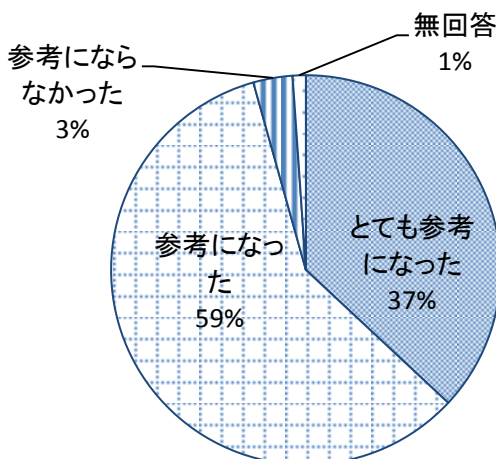
2-1 多重債務者生活再生事業の概要



2-3 東京都における自殺の実態と自殺総合対策について



2-2 東京都における多重債務問題の状況について



【意見・感想】

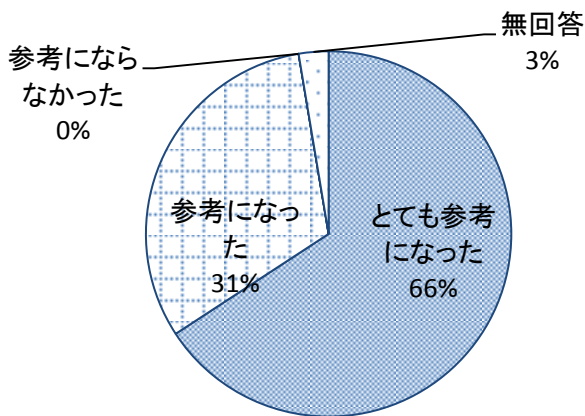
・区市町村やその他関係機関が、早期に連携して支援に取り組む重要性を感じた。

・福祉保健局や消費生活総合センターで実施している様々な取り組みについて初めて知ることができた。まずは、こういった仕組み・支援に確実に繋がられるようにしていきたい。

・多重債務問題が直接自殺に結び付くことは少ないが、原因の一つとなり、精神的・心理的に追い詰め、結果的に自殺に結び付いてしまうことがあることを学んだ。

◆アンケート結果（経験者向け第1回）（回答：38名）

1 最近の多重債務問題の状況

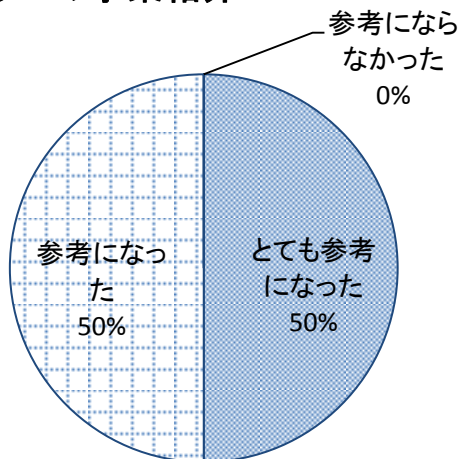


【意見・感想】

・銀行カードローンのような、以前とは違ったケースで多重債務に陥る場合があることを知った。自己破産件数が増加しているなど、現状をすることができ勉強になった。

・債務整理の種類・それぞれの解決方法など、わかりやすく解説いただき、理解が深まった。

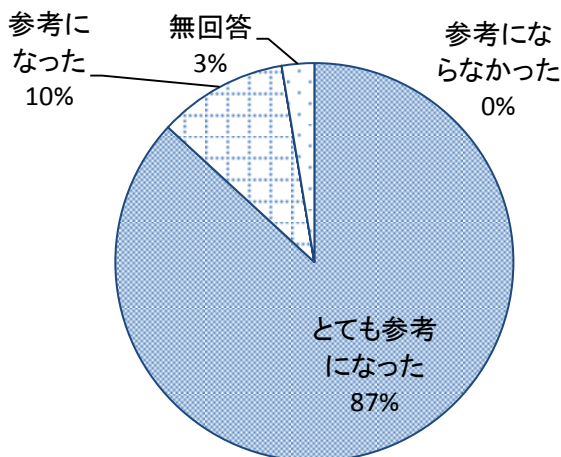
2 法テラスの事業紹介



【意見・感想】

・相談者に対し、法テラスを案内することが多いので、具体的な事業内容について理解することができ、参考になった。償還猶予や免除の制度についても相談者に案内していきたい。

3 多重債務相談への対応について



【意見・感想】

・事例をもとにグループワークを行うことで、具体的なイメージがわき、弁護士の講義内容がより理解できた。

・異なる部署や職種の方と、意見交換をすることができ、大変有意義な時間だった。立場により様々な意見があるが、相談者の生活再建には何が必要か、各自が考えていくことが大切であると感じた。

・問題解決に必要な支援についての引き出しを、相談員が多く持つことが大切であると改めて感じた。